

# 協議事項（1）

資料6

## 第2次黒部市地域公共交通網形成計画実施事業のスケジュールについて

### 1. 基本的な考え方

令和2年3月に策定した第2次黒部市地域公共交通網形成計画では、令和2年度から令和6年度の5年間で計32の事業を実施することとしています。

事業実施にあたっては、計画の前期に着手するもの、後期に着手するもの、期間を通して継続するものに整理し、計画の基本方針及び基本施策に沿って、実施主体が各々の役割分担の中で事業を推進し、公共交通の効率化及び利用の定着化を図り、持続可能な公共交通網を形成することを基本的な考え方とします。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組については、各事業を進める際に必ず考慮するものとします。

### 2. 実施事業のスケジュールについて

基本方針	基本施策	番号	実施事業	R2年度												R3年度												R4年度												R5年度												R6年度												R7年度	進捗状況
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①鉄道を軸とした公共交通網の維持	①都市の骨格となる鉄道の持続的な運行	1	北陸新幹線と市内交通機関との連携	新幹線乗降調査の実施																																																												第三次計画スタート	
				通勤・通学支援																																																													
				市民・近隣自治体住民の利用促進																																				利便性の高いダイヤ改正に向けた検討																									
①鉄道を軸とした公共交通網の維持	①都市の骨格となる鉄道の持続的な運行	2	あいの風とやま鉄道と市内交通機関との連携	市民・近隣自治体住民の利用促進																																																												第三次計画スタート	
																生地駅、黒部駅周辺のまちづくりと連携した利用促進策の検討																																																	
																																								利便性の高いダイヤ改正に向けた検討																									
①鉄道を軸とした公共交通網の維持	①都市の骨格となる鉄道の持続的な運行	3	富山地方鉄道本線のさらなる利便性向上	市民の利用促進																																																												第三次計画スタート	
																																								利便性の高いダイヤ改正に向けた検討																									
②路線バスの持続的な運行	②路線バスの持続的な運行	4	新幹線市街地線の維持及び利便性向上	市民・近隣自治体住民の利用促進																																																												第三次計画スタート	
				利用ニーズの再検討																																																													
		5	新幹線生地線の維持及び利便性向上	市民の利用促進																																																													
																																								事業18と連携した見直しと改善（繰り返し）																									
																																								事業18と連携した見直しと改善（繰り返し）																									
6	生地循環線の維持及び利便性向上	市民の利用促進																																																															
7	石田三日市線の維持及び利便性向上	市民の利用促進												事業17と連携した運行ルートの見直し																																																			
																																						事業18と連携した見直しと改善（繰り返し）																											

:新規事業
  :計画早期に着手すべき事業
  :計画後期に着手する事業

基本方針	基本施策	番号	実施事業	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	進捗状況
				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3		
① 鉄道を軸とした公共交通網の維持	② 路線バスの持続的な運行	8	池尻線の維持及び利便性向上	市民の利用促進			事業18と連携した見直しと改善(繰り返し)			第三次計画スタート
		9	南北循環線の維持及び利便性向上	市民の利用促進(日中帯)			事業18と連携した見直しと改善(繰り返し)			
	③ コミュニティ交通の持続的な運行	10	愛本コミュニティタクシーの維持及び利便性向上	市民の利用促進			事業18と連携した見直しと改善(繰り返し)			
		11	デマンドタクシーの維持及び利便性向上	市民の利用促進 制度の周知						
④ 観光地を結ぶ交通網の維持	12	アルペンライナー(宇奈月温泉立山室堂線)の維持及び利便性向上	観光客へのPR 観光客の利用促進							
			黒部宇奈月温泉駅からの宇奈月、立山方面へのアクセスの検討				利便性の向上(増便等)			
② 公共交通網を支える潜在的需要の開拓	⑤ 公共交通の利用促進	13	情報提供や利用促進に向けた取組の充実	公共交通マップの作成						
				ホームページ等を活用した利用促進 とやまロケーションシステムの周知 転入者や沿線企業に対する情報提供 通勤や通学での公共交通利用の促進 乗車体験会や出前講座の開催 公共交通イベントの情報提供						
		14	利用促進に向けた運賃設定と企画切符等の発行	運賃体系や類似区間の運賃の整理(事業18との連動)				運賃単価の平準化に向けた検討 割引等の企画切符の販売		
				15	運転免許自主返納と連携した利用促進	広報等による市民や近隣自治体住民への周知 自治振興会や老人クラブへの周知 市内路線バスのフリーバス交付の推進				
		16	黒部宇奈月温泉駅駐車場の運用方法の検討	有料化の検討(利用実態の検証、料金体系及び管理体制の検討)						

: 新規事業
  : 計画早期に着手すべき事業
  : 計画後期に着手する事業



基本方針	基本施策	番号	実施事業	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	進捗状況
				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3		
③公共交通網の持続に向けた運行体系の確立	⑧公共交通の担い手の確保	20	運転手確保の取組みへの支援	雇用・育成等に関する制度の周知 就職フェア等の取組の支援 ホームページやニュースレターを通じた広報活動						第三次計画スタート
		21	地域バス・タクシー導入可能性の検討			事例の研究と課題の整理	可能性の検討 (事業18との連動)			
④新幹線効果の維持・向上	⑨新たな観光地へのアクセス環境の向上	22	黒部ルート一般開放に伴う既存公共交通の利用促進		既存公共交通(地鉄、アルペンライナー)の乗継利便性の検討		ダイヤの検討 サイネージ(電子看板)の改善	旅行商品化 ダイヤの改善		
		23	バス待合環境の改善	上屋やベンチ、案内板の再整備						
⑤利便性と魅力を高める公共交通環境の提供	⑩公共交通利用環境の充実	24	無料公共自転車「ちよいのり黒部」の整備・運用	ちよいのり黒部の整備・運用 制度の周知						
		25	駅施設の修繕・改善とパーク&ライド駐車場の整備	鉄道事業者と駅施設の改善についての検討 駅施設の修繕・改修 あいの風とやま鉄道黒部駅西周辺都市施設の整備検討(東西自由通路、駅西広場、駅西駐車場等) (P&R駐車場) 実態の把握						
					手法の検討					
					まちづくりに合わせた駅施設利用環境の課題整理(あいの風とやま鉄道黒部駅、生地駅)					
		26	交通情報提供システムを利用した利便性の向上	とやまロケーションシステムと連携した情報提供、サイネージ(電子看板)の適正管理						
		27	車両及びバス停のデザイン化促進	施設整備等におけるユニバーサルデザイン化の促進						
		28	環境配慮型車両、バリアフリー車両や新システム等の導入可能性の検討	先進事例の研究 課題の整理 導入可能性の検討						

:新規事業
  :計画早期に着手すべき事業
  :計画後期に着手する事業

基本方針	基本施策	番号	実施事業	R2年度												R3年度												R4年度												R5年度												R6年度												R7年度	進捗状況											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
⑥「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」の推進	⑫コンパクトなまちづくりの推進	29	居住誘導区域への居住推進	立地適正化計画に沿った支援制度の周知、住環境の整備、居住誘導区域への移住・定住の促進																																																												第三次計画スタート												
		30	都市機能集積の推進	立地適正化計画に沿った都市機能の集積の促進																																																																								
	31	市民アンケート調査や新幹線の利用状況調査の実施	必要に応じて、特定の事業に対する市民アンケート調査の実施																																																												市民アンケート調査の実施													
			新幹線乗降調査の実施																																																																									
		32	公共交通利用状況の評価、検証	評価・検証												評価・検証												評価・検証												評価・検証																								最終評価・検証												
		—	次期計画の策定																																																													計画策定												

:新規事業
  :計画早期に着手すべき事業
  :計画後期に着手する事業